

# 2017年2月期第2四半期決算説明会資料

株式会社アクアライン

STOCK CODE : 6173



2016年10月13日

# 目次

2017年2月期 第2四半期決算概要 ▶ ▶ ▶	P.3
アクアライン事業説明 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶	P.12
アクアライン成長戦略 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶	P.20
APPENDIX ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶	P.28

株主還元について  
会社概要

# 2017年2月期第2四半期決算概要

# 2017年2月期第2四半期決算概要

## 過去最高第2四半期売上高を達成

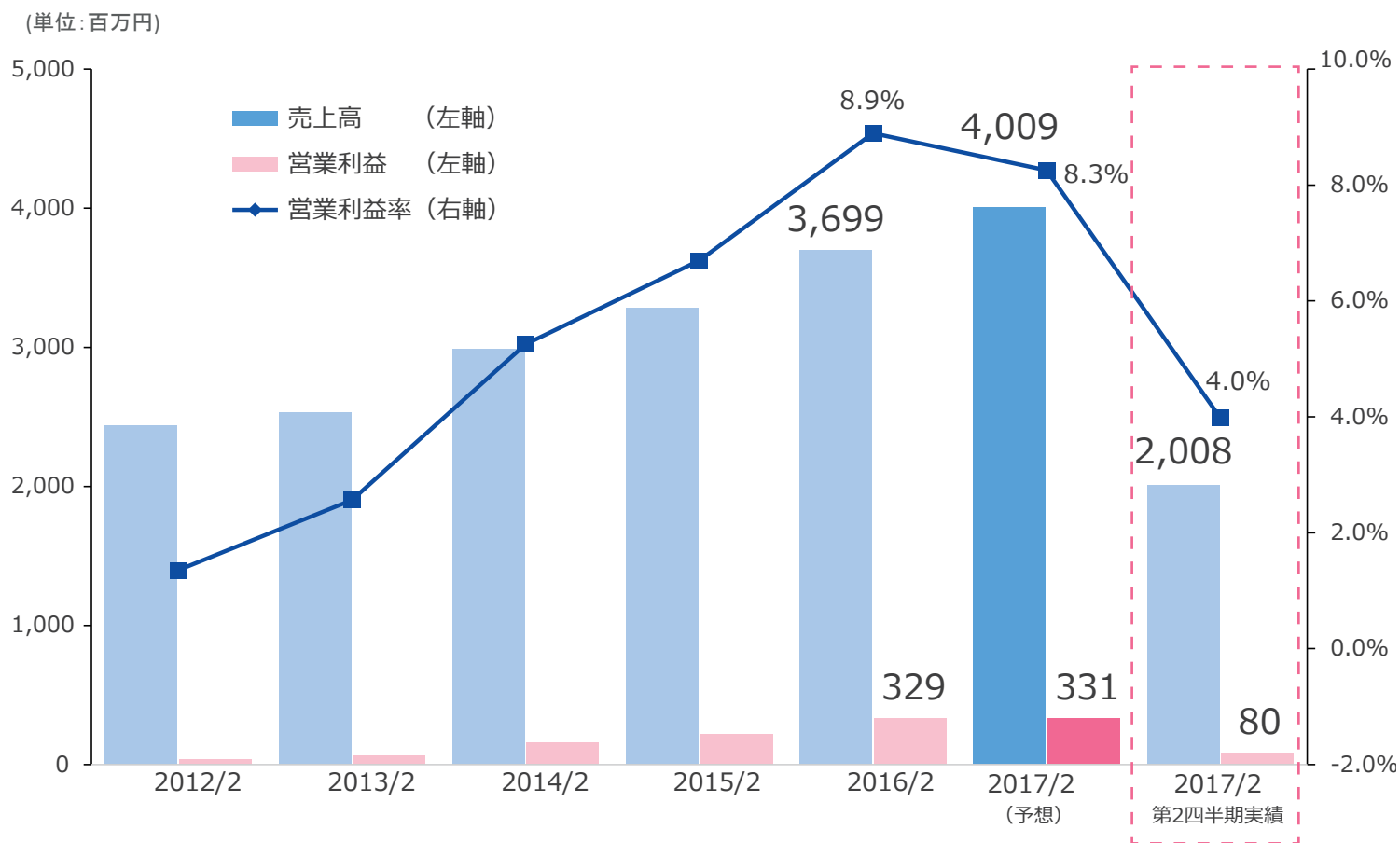
- 水まわり緊急修理サービス事業において、施工件数増により売上高は前年増減率 **+14%**
- 相対的に原価率の高い、その他事業の売上構成比が増加したことにより  
売上原価率は前年増減率 **+0.7%**、売上総利益は前年増減率 **+12%**
- 販管費の前年増減率 **+21%**をうけて、営業利益は前年増減率 **▲35%**

(単位：百万円)

	2016/2 第2四半期	2017/2 第2四半期	増減	増減率
売上高	1,762	2,008	+246	+14%
売上総利益	822	923	+101	+12%
営業利益	124	80	▲44	▲35%
経常利益	113	78	▲35	▲31%
当期純利益	65	49	▲16	▲25%

# 売上高・営業利益の推移

	2016/2 第2 四半期	→	2017/2 第2 四半期
営業利益率：	7.1%		<b>4.0%</b>
予算進捗率：	売上高 48% 営業利益 38%		売上高 50% 営業利益 24%

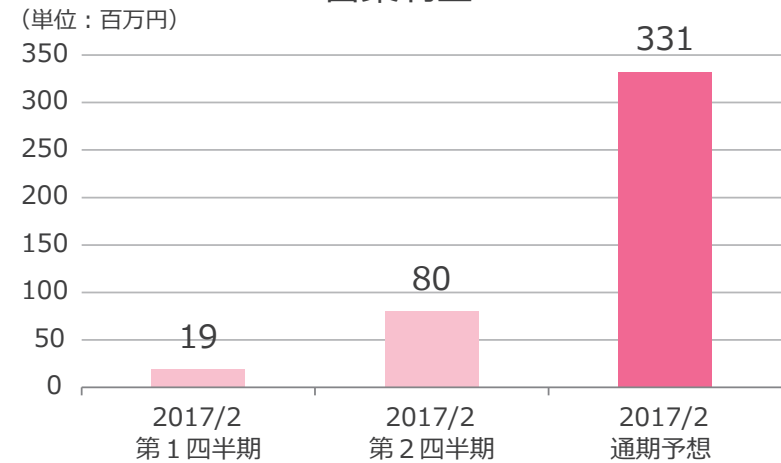


# 2017年2月期 四半期推移と通期予想

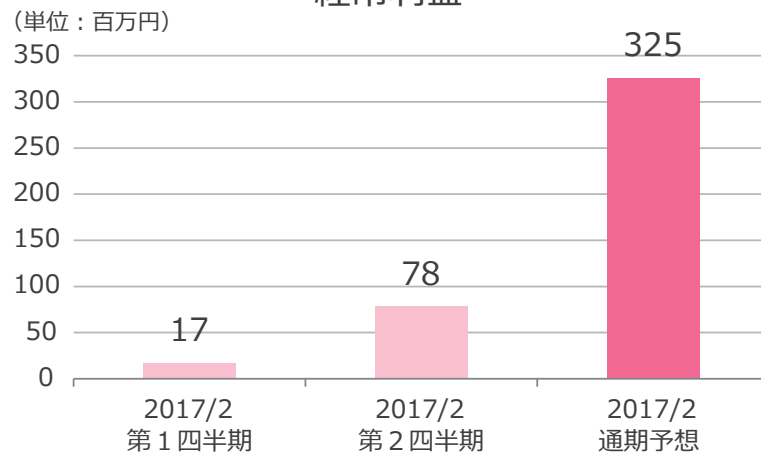
## 売上高



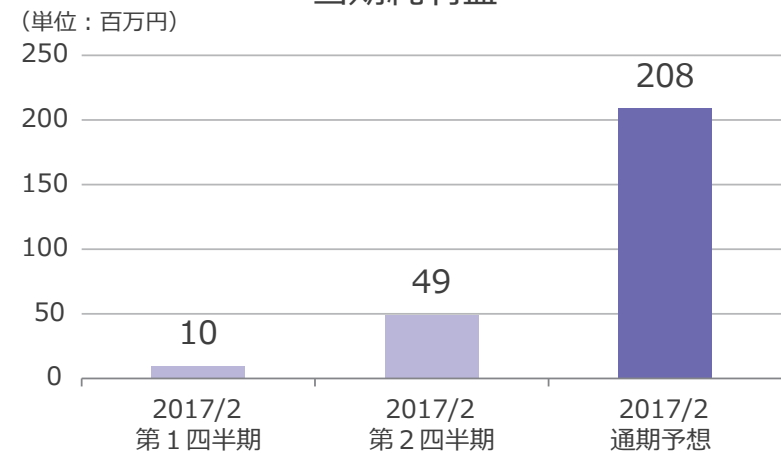
## 営業利益



## 経常利益



## 当期純利益



# 2017年2月期第2四半期損益計算書

(単位：百万円)

	2016/2 第2四半期	2017/2 第2四半期	増減	増減理由
売上高	1,762	2,008	246	施工件数の増加
売上原価 (売上原価率)	939 (53.3%)	1,085 (54.0%)	146 (+0.7%)	売上構成比の変化
売上総利益 (売上総利益率)	822 (46.7%)	923 (46.0%)	101 (▲0.7%)	
販売費及び一般管理費	698	842	144	事業拡大による増加
営業利益 (営業利益率)	124 (7.1%)	80 (4.0%)	▲44 (▲3.1%)	販管費の増加
経常利益	113	78	▲35	
税前利益	113	79	▲34	
法人税等	48	30	▲18	
当期純利益	65	49	▲16	

# 2017年2月期 第2四半期 主要事業の利益増減分析

 水まわり緊急修理サービス業の売上原価の低下→利益率の向上  
主要事業の売上総利益率は前年増減率 **+0.7%**

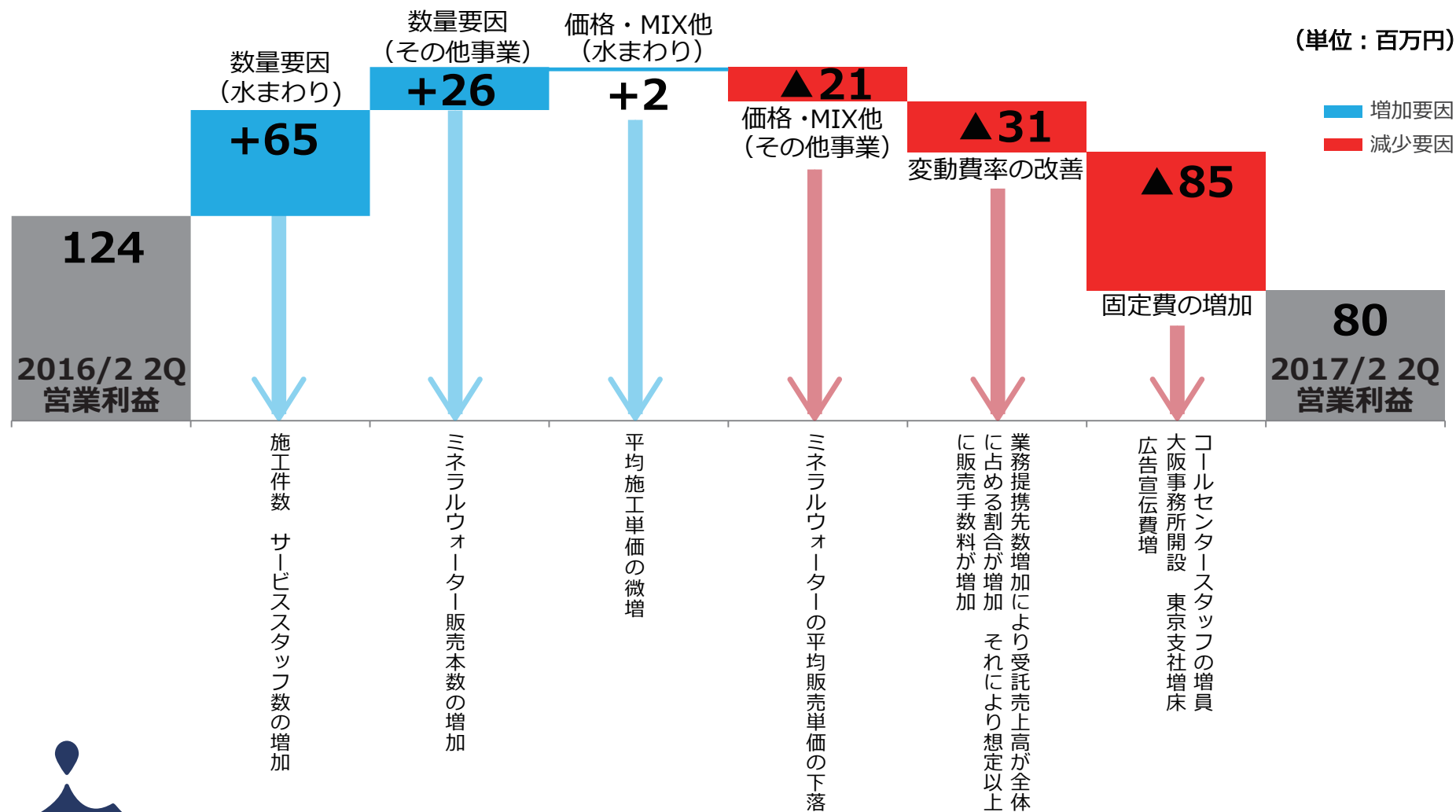
(単位：百万円)

	2016/2 第2四半期	2017/2 第2四半期	増 減	増減理由
水まわり売上高	1,664	1,828	164	水まわり商品の価格上昇
水まわり売上原価 (水まわり売上原価率)	871 (52.4%)	945 (51.7%)	74 <b>(▲0.7%)</b>	
うち水まわり材料費・経費 (水まわり材料費・経費率)	514 (30.9%)	544 (29.8%)	30 <b>(▲1.1%)</b>	仕入価格の見直しによる 材料費率の低下
うち水まわり人件費 (水まわり人件費率)	357 (21.5%)	400 (21.9%)	43 <b>(+0.4%)</b>	新規採用・研修中のスタッフ増 により人件費率は上昇



# 2017年2月期 第2四半期損益分析

増員、増床、先行的な広告宣伝により固定費が増加し、第2四半期の営業利益は前年同期より減少



# 2017年2月期第2四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	2016/2 期末	2017/2 第2四半期末	増 減	増減理由
流動資産	1,303	1,283	▲20	
うち現預金	927	848	▲79	
うち売掛金	121	170	+49	ミネラルウォーターの売掛金増
うち原材料及び貯蔵品	98	95	▲3	
固定資産	271	259	▲12	
資産合計	1,575	1,543	▲32	
流動負債	617	604	▲13	
うち未払金	232	258	+26	
固定負債	204	156	▲48	長期借入金の減少
純資産	753	783	+30	
負債・純資産合計	1,575	1,543	▲32	

# 2017年2月期 第2四半期 キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2016/2 第2四半期	2017/2 第2四半期
営業 CF	57	15
投資 CF	0	▲13
財務 CF	240	▲80
現金及び現金同等物の増減額	298	▲78
現金及び現金同等物の残高	894	848

# アクアライン事業説明

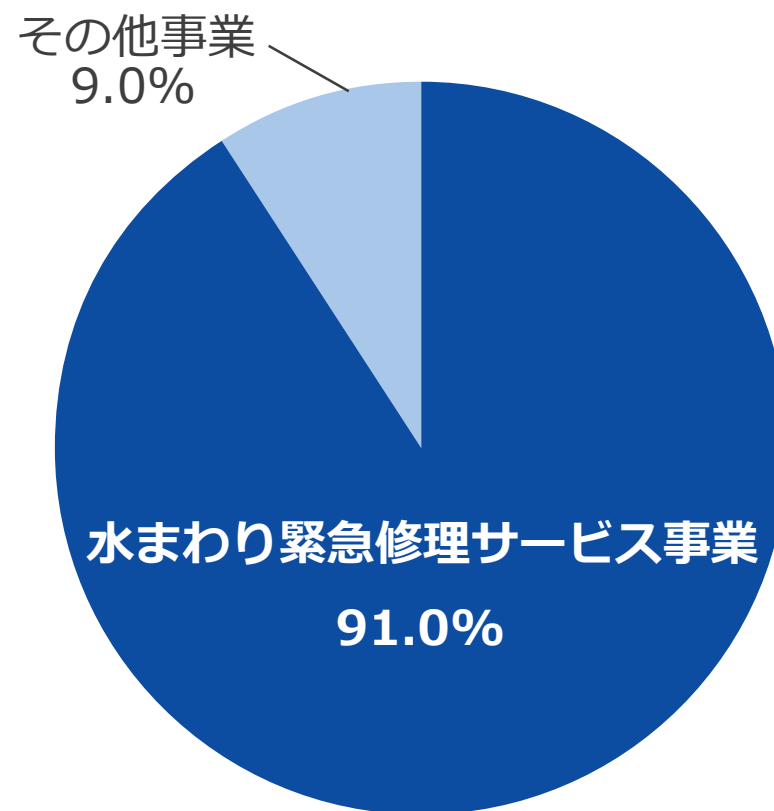


# 事業概要

## 事業テーマ

「水」 × 「人」

## 事業別売上高構成比 (2017年2月期 2Q 実績)

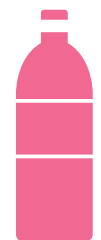


## 事業内容



### 主要事業

『水まわり緊急修理サービス事業』



### その他事業

『ミネラルウォーターの販売  
・ウォーターディスペンサー取扱い』



# 水まわり緊急修理サービス事業

## 一般家庭の水まわり

### ① 緊急トラブル修理・対応

台所・洗面所・お風呂場の  
排水管の水漏れ・つまり修理

給水管の水漏れ修理

トイレの水漏れ・つまり修理

台所・洗面所・お風呂場の  
水栓の水漏れ・つまり修理

洗濯機まわりの  
水漏れ・つまり修理

凍結解氷作業

漏水調査



### ② 水まわり商品の販売・取付

トイレ便座・タンクの販売・取付

温水洗浄便座の販売・取付

洗面化粧台の販売・取付

給湯器の販売・取付

井戸ポンプ販売・取付

### ③ その他修繕工事等

排水マス交換工事

排水管修繕

屋上貯水タンク修理・交換工事

## 店舗等の水まわり



### ① 緊急トラブル修理・対応

### ② 水まわり商品の販売・取付

自社運営 : **水道屋本舗**

業務提携先 : ジャパンベストレスキューシステム(株)  
西部ガス(株)  
(株)アクトコール  
(株)プレステージ・インターナショナル  
大阪ガス(株)  
グランドデュークス(株) 他



## 主なサービスの特徴



北海道から沖縄まで全国でサービスを提供

8月・12～2月が繁忙期 第4四半期の売上高・利益の割合が高い

197名の正社員が「リモート」勤務

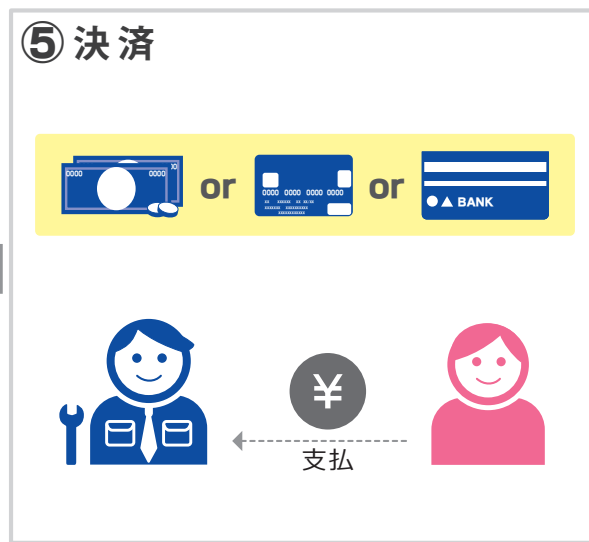
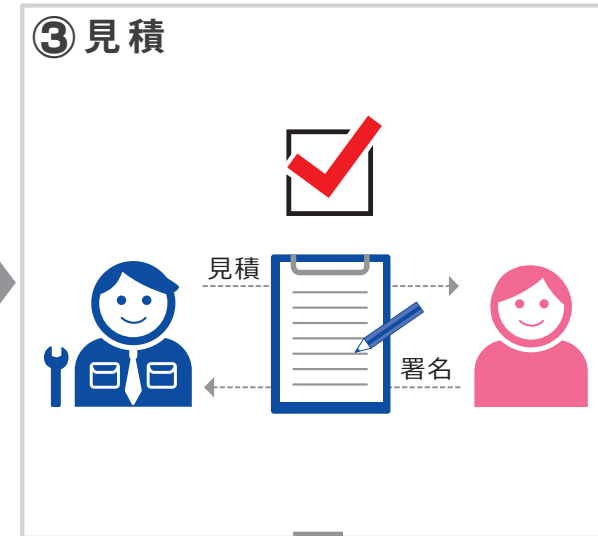
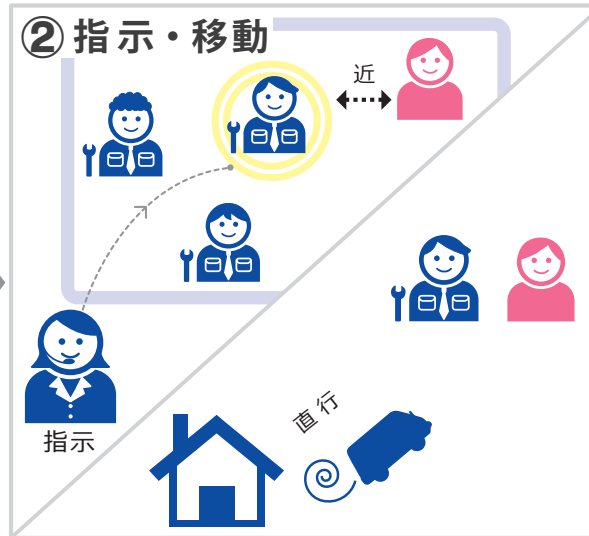
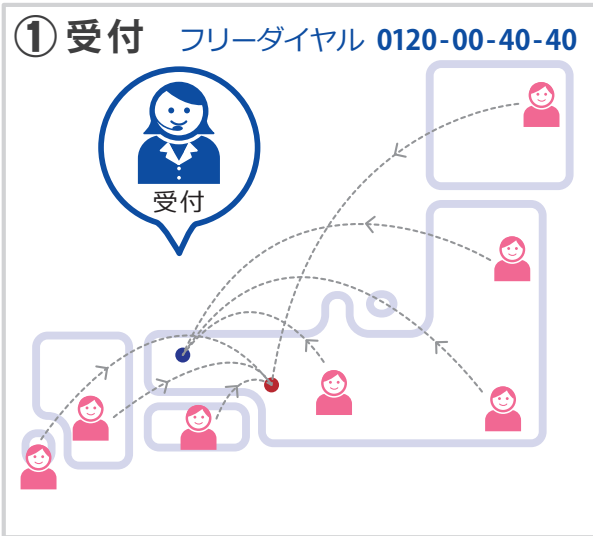
サービススタッフは自宅から現場へ直行直帰。

GPS 車両 スマートフォンで連絡。車両が動く店舗・倉庫。





# サービスの流れ







## 強み・差別化 ①

**CS重視**

## サービス力・提案力

× 「修理業」 ⇒ ○ 「サービス業」

ただ直せばよいだけの「修理業」でなく、「ありがとう」と言っていただけ「サービス業」として営業。

また、ご提案による、水まわりの「買い替え」を促進。

サービスレベルを保つ為に  
毎月終日研修を開催





## 強み・差別化 ②

**CS重視**

# 24時間コールセンター 自社運営

## コールセンター = 司令塔

夜間も自社運営することにより成約率をUP。  
作業後のアンケートを全件実施し、お客様の声をフィードバック。



サービススタッフの司令塔として、  
スタッフの行動を記録、管理。

受付から施工までを下請・外注  
を使用せず一気通貫で運営



# その他事業

自社ブランド  
「aqua aqua」



備蓄用「保存水」



プライベートブランド



ウォーターディスペンサー



## ストック事業

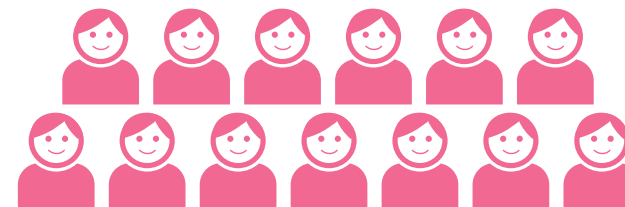
プラスアルファ  
[ +α のご提案 ]

主要事業を通して痛感する  
安心して飲める「水」の重要性

お客様の用途に合わせた  
サービスラインナップ増により  
ニッチな市場ニーズにも対応




クライアント数の  
増加・蓄積



# アクアライン 成長戦略

# アクアラインの成長戦略 —市場規模と方向性—

※  のサイズはそれぞれの市場規模を表しています。

②より大きな  
市場を目指して  
事業領域の拡大

## 3 水まわりのリフォーム・修繕工事



トイレ・台所・洗面所・お風呂場  
商品、壁、窓、配管、タイルなど

## 2 水まわりの製品・関連商品の買い替え



トイレタンク・温水洗浄便座  
便器・蛇口・給湯器  
洗面化粧台など

## 1 水まわりの緊急トラブル・修理

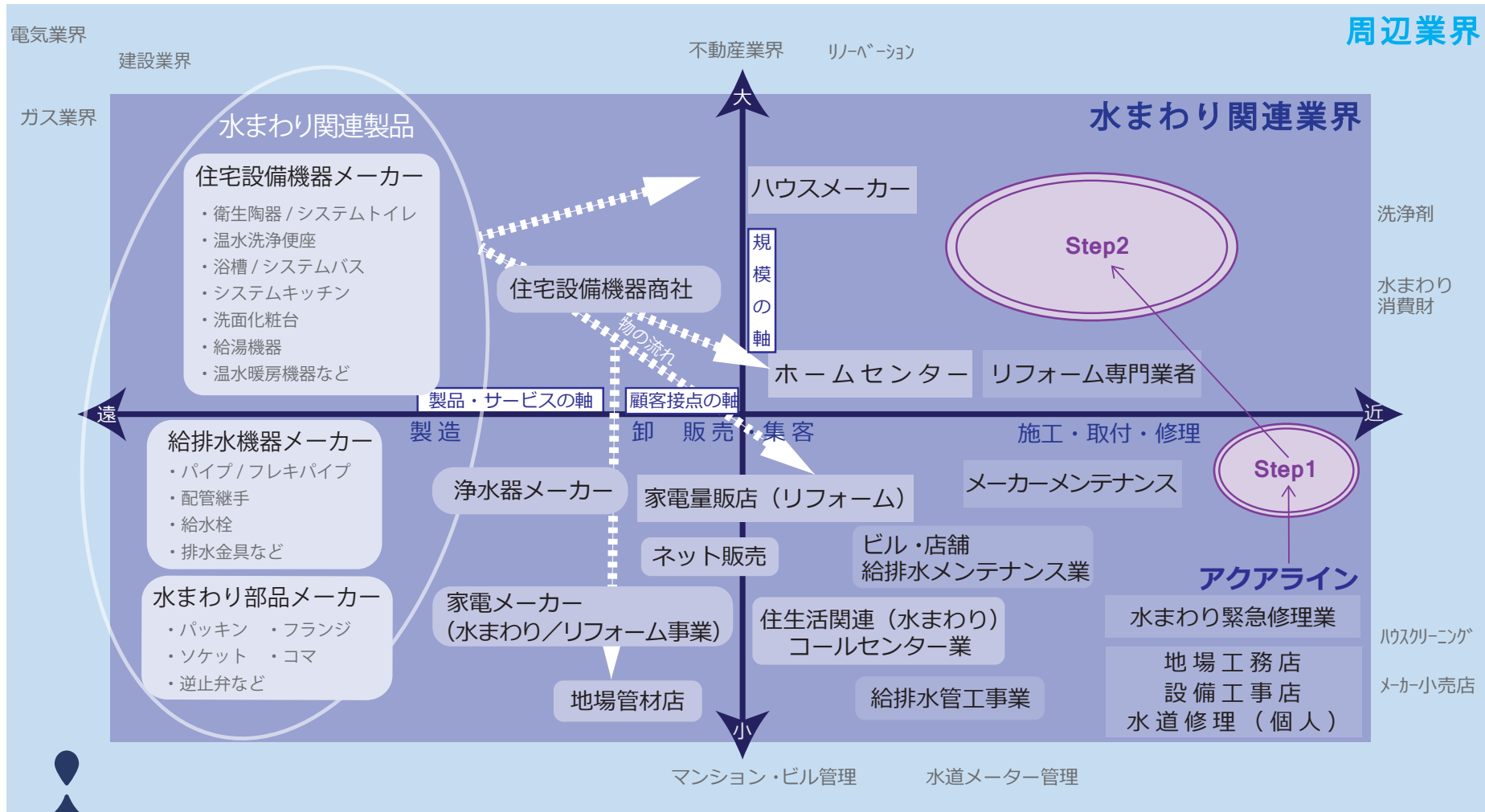


水漏れ・つまり解消

①既存事業の売上高UP

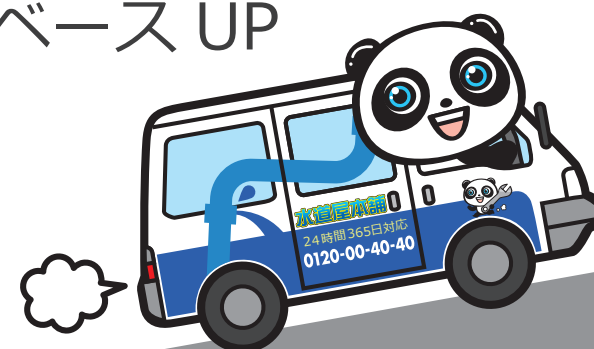
# 【参考】中長期で目標とするポジショニング

## 水まわりと言えば アクアライン



# 成長に向けて－2017年2月期 重要施策－

1. サービススタッフの採用・研修の強化
2. コールセンターの人員増加・チェック体制強化によるサービスの向上
3. アライアンス・M&A の積極検討
4. ミネラルウォーター事業の売上ベース UP

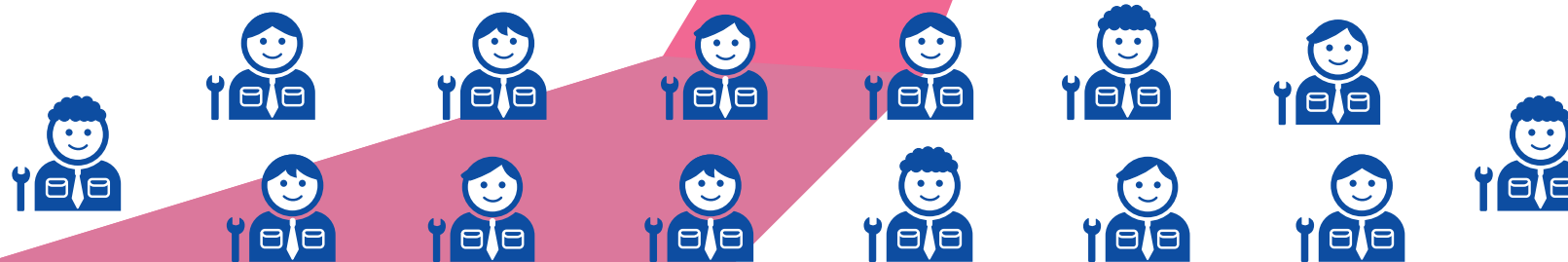


# 2017年2月期 重要施策と現状 1/4

1. サービススタッフの採用・研修の強化  
→ 2016年2月期後半から**採用**が好調。  
2017年2月期第2四半期末時点で前年同期より**32名増**。



目標の前期比 10%増をクリア





2. コールセンターの人員増加・チェック体制強化によるサービスの向上

→ 2016年4月より全施工の作業後  
サービスマナーチェックを開始。  
コールセンタースタッフは前年同期より **11名増**。



目標のコールセンターの人員確保を達成



## 3. アライアンス・M&A の積極検討

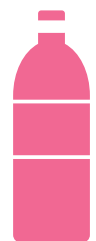
→ **周辺業界** とのアライアンスを促進中。

### 直近実績



**西部ガス(株)様** 【水まわりの修理等】

**大阪ガス(株)様** 【水まわりの修理・研修等】



**グランドデュークス(株)様** 【浄水装置販売】

## 4. ミネラルウォーター事業の売上ベースUP

### ポテンシャルの高いマーケット

市町村数

企業

ホテル・旅館

大学

1,718

約

382万社

約

7.9万施設

775校

取引先数

約130社

2016/2

取扱商品

約80アイテム

2016/2

目標の売上構成比 6.0%達成

# APPENDIX

株主還元について  
会社概要

# 株主還元について

当社のビジネスでは、一般家庭・個人がお客様です。

「株主」=「お客様」であることをから、株主還元を充実させていきたいと考えております。

事業拡大のための内部留保は確保しつつも、

配当を継続的に実施し、配当性向を高めていくことを一つの経営目標としております。

	基準日	効力発生日	1株当たり 配当額(円)	配当金の 総額(百万円)	当期 純利益(百万円)	配当性向
2016年2月期 実績	2016年2月29日	2016年5月30日	10	19	195	9.1%
2017年2月期 予想	2017年2月28日	—	15	28	208	13.8%

(注) 2016年2月期末の1株あたりの配当額は設立20周年記念配当2円を含んでおります。

# 会社概要

企業名	株式会社アクアライン
代表者	代表取締役社長 <small>オオコウチ タケシ</small> 大垣内 剛
決算月	2月
設 立	1995年11月1日
本 社	広島県広島市中区上八丁堀 8-8 第1ウエノヤビル 6F
支社・事務所	東京支社：東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 30F 大阪事務所：大阪府大阪市北区豊崎 3-19-3 ピアスタワー 5F
証券コード	6173
資本金	2億5,394万円（2016年8月31日現在）
事業内容	水まわり緊急修理サービス事業 ミネラルウォーター販売
従業員数	266人（2016年8月31日 現在）

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

